

**2022年度(令和4年度)一般社団法人愛知県歯科技工士会 学術部地区代表委員会議(第1回)
ならびに ADTA トレーニングセンター実行委員会(第1回)及び
ADTA トレーニングセンター講師会議(第1回)討議**

開催日時 2022年(令和4年)4月24日(日) 午後2時00分～午後時分
 開催場所 WEB(ZOOM)
 出席者 本会役員 会長 鈴木 正隆 理事 加藤 雄一郎 理事 小澤 果織
 ADTA トレーニングセンター
 所長 渡部 晃生
 講師 伊佐次講師・大川講師・川村講師・鬼頭講師・近藤講師・鈴木講師・
 藤野講師・三浦講師
 地区代表委員 第1地区 川村 真一 第2地区 大原 峰行 第3地区 岡田 尚士
 稲垣 弘政 加藤 真一 片桐 基喬
 第4地区 與那嶺 真吾 第5地区 藤野 智之 第6地区 中村直行
 佐野 貴洋 長谷部 善雄 杉本 雄樹
 第7地区 松下一彦
 加藤理事(兼務)

【討議関係】

1. 開会ご挨拶
2. 議事内容

1) ADTA トレーニングセンター第8期コース

①第8期日程	5月8日(日)	第8期生オリエンテーション	
	6月4日(土)～5日(日)	CAD 実習・PFM&PFZ 講義	メーカー&三浦講師
	7月2日(土)～3日(日)	PFZ 実習	三浦講師・鈴木講師
	8月6日(土)～7日(日)	ZR 講義・ZR 実習&歯型彫刻	川村講師・鈴木講師
	9月3日(土)～4日(日)	セラミックインレー&プレス 他	川村講師
	10月1日(土)～2日(日)	インプラント講義&ガム模型実習	近藤講師・鈴木講師
	11月5日(土)～6日(日)	インプラント講義&ZR ステイン	近藤講師・鈴木講師
	12月3日(土)～4日(日)	総括	
	3月12日(日)	第8期生修了式	

- ②本年度の ADTA トレーニングセンター第8期の運営方式は、参集型(現地受講)開催とします。
- ③現在、定員の6名受講希望となっておりますが、キャンセル待ちの受講者が数名います。

2) 日技生涯研修・基本課程

- ①開催日時 2023年(令和5年) 3月12日(日) 午前10時～午後4時
- ②開催場所 (一社)愛知県歯科技工士会会館 1F大会議室(参集型+WEB型のハイブリッド開催)
- ③講師 未定
- ④演題 未定
- ⑤対象者: 歯科技工士(東海北信越地区 他)、(一社)日本歯科技工学会会員及び学生
- ⑥会費: 技工士会会員及び技工学会会員 無料
 上記外(未入会者) 10,000円(税込)

2022年(令和4年)4月4日

⑦今回の開催は、(一社)愛知県歯科技工士会学術大会ならびに(一社)日本歯科技工学会東海北信越支部学会の併催企画とし、加えて(公社)日本歯科技工士会生涯研修(基本課程)の学術運営とする。

3) 日技生涯研修・自由課程

①開催日時 2022年(令和4年) 8月28日(日) 午後1時～午後4時

②開催場所 会場未定(参集型+WEB型のハイブリッド開催予定)

③講師 渡部 晃生 先生

④演題 「(仮)補綴装置製作への勉学のいそしみ方と暑気を克服する」

⑤対象者：歯科技工士及び学生

⑥会費：技工士会会員及び技工学会会員 無料

上記外(未入会者) 10,000円(税込)

4) 愛知県歯科医学大会2023

①開催日時 2023年(令和5年) 2月18日(土) 午後0時～午後7時

2月19日(日) 午前9時～午後4時

②カービングコンテスト2023 2月19日(日) 午前10時30分～午後0時

③本会卒基調講演 2月19日(日) 午後1時00分～午後2時30分(予定)

基調講演者 鬼頭 寛之 先生

④各地区の学術部代表者及び副代表者に参集いただき、技工士会ブース受付、技工展示物等の管理・説明の協力ならびにカービングコンテスト運営協力を要請します。

基本、ブース担当を第1日目から第?地区→第?地区・・・→第?地区の順番で対応を願いたい。

2月18日(土) 12時～14時 第?地区、14時～17時 第?地区、17時～19時 第?地区

2月19日(日) 9時～11時 第?地区 11時～13時 第?地区、13時～15時 第?地区、

15時～17時 第?地区

5) (一社)日本歯科技工学会東海北信越支部学会

①本項の2) 日技生涯研修・基本課程案とする。

6) ADTA 臨床講座開設の件

①時代の変遷と伴に技術革新の進む歯科技工技術の研鑽の場として、「ADTA 臨床講座」を開講して会員への情報提供に努めます。

②特に、最先端(IOSを視野としたCAD/CAMセミナー企画)ならびに新機軸として紹介された歯科技工技術等に対する「産」⇔「会」の協力体制を構築し、会員への早期情報提供ができることをします。

3. 各地区における学術活動の支援について

①各地区において学術活動を展開する場合、各地区へ補助費(支援費)として7万円までを支給します。

②また、各地区学術活動に対しては、日技生涯研修の認定を促進すべく、本会共催若しくは後援等の対応を行います。

③日技生涯研修事業の日技からの認定は、当該事業の開催日から起算して約3ヶ月以前に申請を行うルールとなっています。

4. 閉会

以上